

外国語教育メディア学会（LET）関西支部
2025年度 春季研究大会

日時 📅 2025年5月24日（土）
時間 🕒 10:15~17:10
場所 🏠 流通科学大学

対面開催（一部ハイブリッド中継あり）
どうぞふるってご応募ください！



■参加費

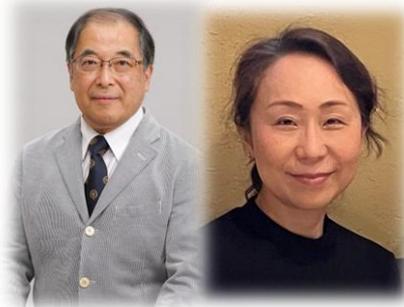
会員：無料

非会員：一般 2,000円／大学院生 1,000円／学部生 無料

基調講演

ハイブリッド形式

ワークショップ1
ハイブリッド形式



ことばの学び—
絵本の読み聞かせを通して
井狩幸男氏・斉藤倫子氏
他LET早期英語教育
研究部会

生成AI時代の英語評価：
新たな学習成果の測り方

萱忠義氏

ワークショップ2
ハイブリッド形式



双方向型コミュニケーション
活動を実践する対面・オンライ
ン併用ハイブリッド授業の試み

野村和宏氏

外国語教育メディア学会（LET）関西支部事務局

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学外国語学部 田村 祐 研究室

E-mail: kansailet@gmail.com

基調講演：15:30 - 17:00

生成AI時代の英語評価： 新たな学習成果の測り方

キーワード：生成AI、学習成果、評価の在り方

生成AI技術の急速な普及により、英語教育の現場でも学習者が生成AIを活用して課題を作成・提出することが一般化しつつあります。一方で、教員はその成果物をどう評価すべきか、明確な指針がないのが現状です。本講演では、英語教育における生成AIの影響を概観し、学習成果を公平かつ的確に評価するための視点と課題について考察します。

□ 萱 忠義

学習院女子大学教授。同大学語学教育センター長。応用言語学博士（Ph.D. in Applied Linguistics）。上智大学外国語学部英語学科卒業後、同大学院を経て、米国・北アリゾナ大学にて博士号を取得。英語教育に関する研究発表や執筆を国内外で精力的に行っており、Wiley-Blackwellより2026年に刊行予定のThe Encyclopedia of Applied Linguistics（第2版）では、学習評価・記述統計に関する章を担当している。

□ 井狩 幸男

母語獲得・第二言語習得のメカニズムを神経心理言語学の観点から研究。博士（文学）。共著書『小学校外国語活動の進め方―「ことばの教育」として―』（成美堂）、『ことばと認知のしくみ』（三省堂）、監訳『子どもの認知と言語はどう発達するか』（松柏社）など。「生きたことばを習得するための英語教育―母語獲得と脳科学の研究成果を踏まえて―」（学位論文）

□ 齊藤 倫子

関西学院大学言語コミュニケーション文化研究科博士後期課程満期退学。関西学院大学他で大学英語および小学校英語に関わると共に、オンラインの読み聞かせ指導を行う。多読と絵本読み聞かせを通して早期の第二言語習得を研究。『低学年から始める英語短時間学習：すぐに使える活動アイデアと単元展開』（教育出版）執筆中

ワークショップ1：10:30 - 12:00

ことばの学び―

絵本の読み聞かせを通して

キーワード：読み聞かせ、予測と気づき、やりとり

子どもの「ことばの学び」がどこに起因しているかを調査するため、実際の絵本の読み聞かせの中での教師と学習者のやりとりに着目し、理論的背景を模索する。ワークショップでは実際に絵本を使用して、効果的な反応を引き出すためにどのような教員の発問ややり取りが可能であるかグループワークを行い考察する。

ワークショップ2：10:30 - 12:00

双方向型コミュニケーション活動を実践する 対面・オンライン併用ハイブリッド授業の試み

キーワード：双方向型コミュニケーション活動、オンライン、ハイブリッド

コロナ禍を契機としてオンライン授業の可能性は大いに進化した。こうしたテクノロジーには多いに恩恵を受ける一方、充実した学びを得るために克服すべき課題もある。本発表では対面とオンラインを併用したハイブリッド授業で、スピーチ発表など双方向型のコミュニケーション活動を実践する機器のセッティングを検討する。

□ 野村 和宏

神戸市外国語大学大学院外国学研究科英語学専攻修了。神戸市外国語大学名誉教授。現在、甲南大学特命教授、同グローバル教養学環長。LET関西支部名誉支部長。2007年より兵庫県高校生英語スピーチコンテスト審査委員長、現在に至る。趣味は高校時代から続けている合唱活動。松原千振氏主宰の合唱団四季団員。Ensemble Porto指揮者。